

第 64 回動物園技術者研究会 発表要旨

ハズバンドリートレーニングによるマンドリルの無麻酔下採血

○村久木美貴子, 川瀬啓祐, 伴和幸, 河野成史, 高木亮祐, 梅崎春菜, 椎原春一
(大牟田市動物園)

「世界動物園水族館福祉戦略 野生生物への配慮」(Mellor et al., 2015)において, 獣医的処置のための正の強化トレーニングは推奨されており, 動物福祉を進めるうえで必要とされている. 今回, ハズバンドリートレーニングを用いた行動的保定による, マンドリル *Mandrillus sphinx* の無麻酔下採血に国内で初めて成功したので報告する. 対象個体は大牟田市動物園で飼育する雌雄 2 個体で, 展示時は同居, 収容時は別室に飼育している. 採血は雌雄ともに各寝室の柵扉で実施した. 扉を加工し, 縦 15 cm, 横 10 cm の穴を開け, 塩化ビニル製パイプを加工したアタッチメントを取り付けた. パイプの径は雌雄の腕のサイズに合わせ, 雄が径 90 mm, 雌が径 75 mm のものを使用した. パイプ内には握り手としてボルトを取り付けた. 右前肢の挿入口から握り手の距離は, 雌雄ともに約 40 cm とした. 握り手は, 上面に消防ホース製の仕切りを取り付け, 握り手を逆手でのみ握れるようにした. 採血部位は, 右前肢の撓側皮静脈 (雌は当初のみ尺側皮静脈), 針は 23G の翼状針または直針を使用した. 採血手順は以下の通りである. アタッチメント内に前肢を差し出す, 握り手を握る, 採血部位を電動バリカンで剃毛 (雄のみ), 駆血, 消毒, 刺入, 採血. 行動形成には正の強化を主に用い, 無条件強化子に煮イモまたはリンゴジュース, 条件性強化子にホイッスルを使用した. 採血手順に沿って順次行動形成を行った. トレーニングは実施可能日のみ行い (最長 26 日間の休止), 1 日 1 回, 1 回 5 分・10 分とした. トレーニング開始から採血初成功までの期間は, 雄で 120 日 (2015 年 4 月 4 日~2015 年 8 月 14 日), 雌で 188 日 (2016 年 2 月 15 日~2016 年 8 月 20 日), 期間内のトレーニング回数は雄で 35 回, 雌で 65 回であった. 2016 年 12 月 18 日時点での採血成功率は, 雄 100% (32/32 回), 雌 86% (6/7 回) と高い値を示した. 今後は, 血液データの蓄積を行い, 健康管理および繁殖管理に役立てたい.